

# 鹿嶋さん

第 1 号  
発行日 平成24年 1月10日  
発行先 新屋鹿嶋祭保存会  
会長 伊藤 富美雄  
編集 保存会広報部  
事務所 新屋日吉神社内

## 新屋鹿嶋祭の継承・発展を期して保存会発足

平成二十三年十一月二〇日、日吉神社社会館において「新屋鹿嶋祭保存会設立総会」が新屋各町内会長、個人会員、栗田養護学校など約五〇名を集め開催されました。

鹿嶋祭りは約四百年の歴史を誇る新屋の伝統行事として「鹿嶋さん」の呼び名で親しまれ、子供たちの健やかな成長と家内安全、無病息災を祈り行われてきました。

近年「伝統行事を新屋の観光資源として活性化できないか」「他の町内の鹿嶋船を見るのができないのは残念」とした意見や最近では「子供たちの鹿嶋の歌が聞こえない」「太鼓の音やリズムが町内会によってマチマチ。子供たちに正しく伝える必要があるのではないか」「鹿嶋人形の川流しにつ

いて、環境保護の立場から意見が寄せられている」などの声が出されるようになりました。

鹿嶋祭りは参加町内会の当番制、持ち回りで運営されてきたことから、鹿嶋祭りに関する個々の問題や課題があっても継続的に議論し対応する場がなかったことから雲散霧消の状態でした。

そこで、平成二十二年一〇月に「鹿嶋祭りを考える会」（準備会）が十條団地、下表町、笹町、緑町、大川町の五町内会と日吉神社石澤千秋宮司、日吉神社責任役員などが準備委員となり「保存会」発足に向けて準備を重ねてきました。

「保存会」会則では、「文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である新屋鹿嶋祭の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする」と明記し、「鹿嶋祭の保存及び伝承、調査、研究に関すること」を事業

の柱として、「事業部」「広報部」「調査研究部」「実技部」「製作部」という五つの「部会」が課題別に活動を担っていくこととして

### 役員会の部会所属決定 部活中心に保存会活動をリード

師走の12月18日第1回役員会を開催し、総会議事録、会員名簿の確認や年間事業計画などスケジュールを確認後、役員会の各部会配属案が事務局より提起され了解されました。今後「事業部」「広報部」「調査研究部」「実技部」「制作部」の5つの部会を中心に活動を担っていきますが、2月「会員全体会議」を開き個人会員の部会配属も決定し、部会長、副部会長など任務分担と具体的な「部活内容」を討議します。

### 「会員全体会議」の開催 2月19日(日)午後3時 日吉神社社会館

います。今年度の事業計画として「鹿嶋祭写真展示会」「鹿嶋祭の昔と今を語る会」「鹿嶋祭の歌と太鼓のお囃子教室」の開催を確認しました。

保存会総会は、二〇町内会、一養護学校、四十四名の個人会員で発足しましたが、保存会活動を担っていくための「会員の拡大」を積極的にすすめていくことを確認しました。（現在四五名の会員）

保存会役員体制は、伊藤富美雄さん（大川町）が初代会長に就任し、日吉神社責任役員、各町内会長・役員の方から保存会の副会長、理事、監事など任務に就いていただきました。

総会終了後は、祝賀会が行なわれ秋田市、新屋振興会、市議会議員など来賓からご祝辞をいただき、太鼓と笛による演奏で鹿嶋祭のお囃子が披露されました。

今年の鹿嶋祭りでは、子供たちの「シヨツ、シヨツ、シヨッー！」の元気な歌声と太鼓の響きが鹿嶋船を引っ張り、初夏の新屋の街並みを練り歩くことでしよう。

※二月十九日「会員全体会議」については、後日誌にてご案内致します。



新屋鹿嶋祭保存会 設立総会

### 鹿嶋祭保存会役員体制

- 会長 伊藤富美雄 (大川町)
- 副会長 石澤千秋 (日吉神社)
- 副会長 富田 漣 (十條団地)
- 副会長 海風敏夫 (下表町)
- 総務 藤枝隆博 (大川町)
- 会計 大塚正一 (緑町)
- 理事 赤坂光一 (日吉役員)
- 理事 斉藤政雄 (日吉役員)
- 理事 鈴木恭治 (日吉役員)
- 理事 山本義臣 (日吉役員)
- 理事 小林敬一 (栗田養護)
- 理事 小島初男 (緑町)
- 理事 川田直政 (北新町)
- 理事 南波郁夫 (南新町)
- 理事 斉藤吉茂 (関町)
- 理事 富野勝輝 (愛宕町)
- 理事 中山清造 (関町後)
- 理事 安田 正 (日の出町)
- 理事 金澤國太郎 (比内町)
- 理事 岡田徳美 (沖田町)
- 理事 鍋谷雄司 (南団地)
- 理事 遠藤一記 (田尻沢町)
- 理事 今野周次郎 (高美町)
- 理事 高橋昭一 (駅前町)
- 理事 高橋 伸 (上表町)
- 理事 小玉隆太郎 (中表町)
- 理事 高橋 勝 (十條団地)
- 理事 藤田友好 (市営住宅)
- 理事 大塚誠智 (下表町)
- 理事 狩野紀男 (大川町)
- 理事 佐々木宏治 (笹町)
- 監査 渡辺憲一 (笹町)
- 監査 小野良二 (愛宕町)

よろしくお願ひします!

## 新屋鹿嶋祭保存会入会のご案内

○「新屋の鹿嶋さん」は古くから近郷近在の大きな祭りとして親しまれてきました。新屋町の各町内では、子供たちのため町民が力を合わせ、何日もかけて鹿嶋船を作り、子供たちの健やかな成長と町民の息災安全を祈りながら、鹿嶋人形に子供らの「厄」を乗せて「鹿嶋流し」を行ってきました。

○初夏の風物詩として多くの人たちに親しまれてきた鹿嶋祭を誇りある伝統行事として後世に伝え、育んでいく核づくり、人づくりを目的に、平成23年11月20日、日吉神社会館において「新屋鹿嶋祭保存会」が結成されました。

○「保存会」には、20町内会、44名の町内会長や市民の皆さんが団体・個人会員として加入しております。鹿嶋の歌やお囃子の練習、講習会などのほか、祭りに関する調査、研究、発表、展示など「部会」活動を行っていきます。(部会は、「事業部」「広報部」「調査研究部」「実技部」「製作部」の5部会があります。)

○「新屋鹿嶋祭保存会」の事業活動を行っていくためには、より多くの方々のご協力が必要となります。新屋の「心意気」を鹿嶋祭に託して、「新屋鹿嶋祭保存会」に奮って加入して下さいますようお願い申し上げます。

新屋鹿嶋祭保存会 会長 伊藤富美雄

年会費 (1口) 1,000円

【入金方法】

- 1、現金払い
- 2、振込み払い  
(振込み先)  
ゆうちょ銀行  
「新屋鹿嶋祭保存会」  
口座番号 18620-5179271

事務所 秋田市新屋日吉町10-67 日吉神社会館  
TEL 018-828-3033  
FAX 018-828-9057  
メール・アドレス hiyoshi@cna.ne.jp

### 加入申込書

申込日	平成	年	月	日
フリガナ				
お名前				
ご住所	(〒 - )			
年齢	歳	男性	女性	(町内会・地区名)
電話	( )	携帯電話	-	-
FAX	( )			
Mail: アドレス	携帯	PC		
希望する「部会」 がありましたら選 んで下さい。	「事業部」 「広報部」 「調査研究部」 「実技部」 「製作部」			
保存会への通信欄				

年会費 (1口 1,000円)

口数	口	金額	円
----	---	----	---

平成23年度事業計画スケジュール表

新屋鹿嶋祭保存会

年	月	日	曜日	事業内容
平成23年	12月	2日	金	第10回準備会(準備会解散) ・総会総括と各種資料整理、保存会加入用紙書、理事会部会担当、部会開催日決定
		18日	日	第1回役員会 ①会則整理、会員名簿、役員名簿、②事業計画スケジュール③理事部会担当④部会開催日予定⑤保存会入会書
平成24年	1月			○会員拡大運動「保存会入会書」(50人～目標)【総務部】 ・各町内への呼びかけ文書(含む新屋郷土会) ・西部市民サービスセンター、日吉神社会館に加入用紙の設置 ・広報活動(保存会ニュース発行「鹿嶋さん」第1号発行【総務部→広報部】) ・新屋衆報新年号掲載【総務部→広報部】
	2月	6日		○第1回三役会議の開催(2月6日)【総務部】 ・「会員全体会議」に向けて
		19日		○会員全体会議(2月19日)【総務部】 ・全会員の部会所属決定 ・各部年間計画と部会活動の具体化
	3月		日	○会員の鹿嶋祭の「歌と太鼓」教室の開催(定期開催、曜日指定)【実技部】 ○鹿嶋祭の歌と太鼓教室の開催企画と案内(実技部、定期開催、曜日指定)【実技部】 ・参加町内会への呼びかけ(文書案内) ・会場(西部市民センター、日吉神社会館)、開設の手配準備
		4月		日
	5月			日
	6月	10日	日	○平成24年度鹿嶋祭 ・保存会のかかわり方 第3回役員会 ・第2回総会準備(開催日、資料作成)
7月～			日	第2回新屋鹿嶋祭保存会定期総会 ・平成24年度鹿嶋祭り写真展(開催時期 月 日) 秋頃開催予定 ・鹿嶋祭写真展 ・鹿嶋祭今昔を語る会

## 各部の主な活動内容(案)と具体化について

事業部	<p>総会で決定した事業方針に基づき、研究発表会、実技発表会、講演会など企画担当する。</p>
広報部	<p>保存会活動を会員及び新屋地域などに広報宣伝活動に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鹿嶋さん」発行、その他宣伝媒体方法</li> <li>・新屋振興会、新屋地域の各団体への広報活動</li> <li>・ホームページ設定など</li> </ul>
調査研究部	<p>鹿嶋祭に関する歴史、祭事、慣習などに関する事項について調査、研究、発表など行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査、研究した内容について会員、各町内会、住民に対して公表、発表する活動。</li> <li>・「鹿嶋祭今昔写真展」「鹿嶋祭の今昔を語る会」などの企画運営。</li> </ul>
実技部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員に「歌」「太鼓」などの歌唱及び演奏指導を行う。</li> <li>・「歌」「太鼓」の歌唱、演奏など日時、場所を指定して教育、指導する。または町内会に出向いて指導する。</li> <li>・「デモテープ」「CD版」の製作、普及。</li> <li>・「演奏会」「発表会」など企画運営。</li> </ul>
製作部	<p>鹿嶋人形、鹿嶋船、その他祭りに関する製作物の調査・研究を行う。</p> <p>各町内会の鹿嶋人形、鹿嶋船など製作物に関する調査・研究・交流・指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿嶋船、鹿嶋人形の歴史的意義、時代の変化など調査・研究、発表。(調査研究部の企画運営と関連性)</li> </ul>
討議のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部長、副部長の選出。</li> <li>○主な活動骨子と内容について列記しました。各部会において討議し今後の部会活動の目的、内容、目標を話し合ってください。</li> <li>○年間スケジュール表を参考に活動内容と事業、行事などの開催時期などを話し合ってください。</li> <li>○今年度、来年度以降の企画、開催目標など話し合ってください。</li> </ul>